



3月市議会

公共施設再生計画と

国民健康保険で白熱！

習志野市議会は、2月20日に2018年3月市議会が招集され、3月23日まで議案を審議します。2月27日の総括質疑では、議員から議案に対して質問があり、白熱した議論が交わされました。

◎ 一般会計補正予算

民間に任せる「北館」の一部に問題

大久保地区公共施設再生事業の内、現在の公民館・市民会館がある部分は、「北館」の一部で、市が民間事業者に50年の定期借地権付きで土地を貸し、建物は民間授業者が建てて1階にカフェ等、2階以上を若者の定住促進のためのワンルームマンションとする計画です。しかし、課題が複数、指摘されています。

- ・大久保駅前の一等地にワンルームマンションを建てるのは良くない。別の場所でもいいのではないか。
- ・地域に貢献することを条件とする、若者の定住促進が本当に可能なのか。
- ・若者の住めるような安い家賃が可能なのか。等々。

当計画の内、民間付帯事業である「民間ワンルームマンション計画の中止・凍結」を求める意見も出されました。

◎ 国民健康保険条例の一部改正により、賦課限度額合計が4万円も値上がり！

保険料の賦課限度額を政令と同額になるように改正することで、習志野市は限度額が4万円も上がってしまう。しかも、2018年度は同時に介護保険料も値上がりとなる。これに後期高齢者医療の保険料も加わって、市民の皆さんの負担は大変なものとなってしまう。問題だ。

3月議会日程	
2月 27日(火)	本会議。総括質疑。
2月 28日(水) ～3月7日(水)	市長への一般質問 同上
3月 8日(木)	総務・都市環境 常任委員会
9日(金)	協働経済・文教福祉 常任委員会
12日(月) ～15日(木)	予算特別委員会 同上
16日(金) ～22日(木)	委員会報告作成など 最終日に向けた準備。 同上
23日(金)	本会議。議案、請願など について、質疑、討論、 採決をして、閉会。

【一般質問の報告】

3月1日（木）、私、藤崎ちさこは市長への一般質問を行いました。今週から2週にわたってご報告します。

（1）放課後児童会の現状と今後の方向性について

【藤崎】民間委託が始まった津田沼小学校の児童会の運営は適切に行われたのか。

【担当部 こども部長】

「季節に応じた行事の開催」、「日常のおやつ提供」、「職員の配置」等が適正に行われていた。

【藤崎】民間委託が始まった津田沼小学校の児童会の保護者・児童の満足度は？

【担当部 こども部長】

- ・児童が安心して楽しく過ごせる。
- ・落ち着いて生活でき、整理整頓が行き届いている。
- ・年齢、性別、国籍、発達、障害の有無等、多様な子どもたちへの配慮あり。

【藤崎】2019年度民間委託を開始する大久保東、藤崎第1、藤崎第2児童会の保護者への説明はどの様に行われるのか。

【担当部 こども部長】

本年1月、2月の保護者会において説明。今後、全児童会の保護者に文書でお知らせする。

【要望】4年生以上の待機児童の解消の取組みを急いで欲しい。民間委託された児童会の運営が、今後も適切に行われるように要望する。

（2）袖ヶ浦団地の再生・活性化について

【藤崎】URは2018年度に、また中長期的にどのような事業を計画しているのか。

【担当部 政策経営部長】

2018年度に、地元自治会との意見交換を始め、その後習志野市との意見交換を実施する。現時点において、袖ヶ浦団地の「団地再生」を示した計画は、2008年に公表した「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」であり、改訂されていない。

【藤崎】URの袖ヶ浦団地再生の取組みはスピードが遅い。市からURに対し取組みを急ぐように申し入れてもらえないか。

【担当部 政策経営部長】

URに対しては、積極的に連絡を図り、団地再生の進捗の確認を行っている。取組みのスピードアップについては、今後伝えていく。

【要望】袖ヶ浦団地は、交通の便も良く、買い物にも不便でない、暮らしやすい地域である。住民の声をよく聞いて、今いる高齢者の方たちが快適に暮らせること、また、それだけに留まらず、単身の若者や若い家族世帯も移り住んでくるような、魅力あるまちづくりを進める再生・活性化に少しでも早く取り組むように、市からURに対して求めていただきたいと、要望する。

